

新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。



今年は無(ひつじ)年。子丑寅…と続く十二支は、動物の名前で呼ばれていますが、もともとは植物の成長過程を12段階で表したもので、動物の名前を当てはめることで、人々に親しみを持たせたようです。未は8番目。まだ熟しきらない成長途上の植物という意味があり、また豊作への願いもこめられているそうです。皆さんもまさに成長途中。今年1年、多くのことを吸収して、大きく成長してほしいと願っています。

さて、特色ある学校づくりの一環として行っている、県立幼稚園との交流事業。今回は1月14日(水)に県立幼稚園で行った「餅つき」の様子をお伝えします。

H27.1.14 県立幼稚園交流体験 餅つき



餅つきには2年生20名が参加。事前指導では当日の流れや注意事項を説明し、一緒に歌う「ゆき」「さんぽ」、そして「セブンステップス」の踊りを練習。園児たちのお手本になれるか不安もありましたが、北高生はやるときはやってくれるはず。

1月14日(水)、生徒たちの行いの良さか? 天気は晴れ。9:00に生徒玄関前に集合した生徒たちはタクシーに分乗し幼稚園へ。いつも元気な大関副園長先生が笑顔で出迎えてくれました。ちょうど園児たちも登園時間。次々と登園する園児たちに「かわいい〜。」「こんにちは〜。」と生徒たちの気分もハイテンションに。遊技場に整列し、大関先生に「よろしく申し上げます。」と挨拶、準備にかかりました。生徒たちの手際の良さと幼稚園の先生が事前に準備を進めてくれたおかげで、準備もスムーズに終了、あとは園児を待つのみです。

<顔合わせ交流>



顔合わせ交流の始まりは、アーチを作って園児のお出迎え。お兄さん、お姉さんたちのアーチをくぐりながら園児たちも大喜びの入場でした。

全員がそろったところで、「おはようございま〜す。」と元気な声で顔合わせ交流がスタート。まずは、代表生徒2名が挨拶し、参加生徒全員が自己紹介。まだまだ少し緊張気味かな。



進行は大関副園長先生
**「新潟北高校2年生の
 みなさ～ん！」**
「ハイ！！」
 みんな元気に答えてくれました。
 た。

そして園児たちと一緒に「ゆき」「さんぽ」の合唱。練習はしましたが園児たちの大きな声に生徒はちょっと押し気味。

がんばれ北高生～！

<もちつき>



顔合わせ交流も終了し、いよいよ餅つきへ。まずは、園長先生（斎藤校長先生兼務）が見本を見せてくれました。「園長先生がんばれ～！」園児たちの応援に、園長先生も力が入ります。

そしていよいよ園児たちの出番。年長さんの「ほし組」29人が生徒に豆絞りはちまきをつけてもらい、2人1組で10回ずつ餅をつく。「よいしょ～！」のかけ声が響き、餅はだんだんとおいしそうになっきました。



つき終わったお餅は、全員で協力しながら、きなこ餅とあんころ餅に。そして食事の準備。ここでも北高生は率先して麦茶を運んだり、園児たちの希望の餅を運んだり、しっかり面倒をみてくれました。さすが北高生！

<みんなで会食>



食事の準備も整い、会食の時間。年中「さくら組」と年長「ほし組」さんがテーブルに着き、参加生徒と先生方全員で「いただきます〜す！」

各テーブルでは、餅をほおぼりながら会話も弾み、参加生徒もすっかり和んできた様子でした。みんなで作ったお餅はとってもおいしく、園児たちも生徒もたくさんおかわりをしてくれましたよ。



<ダンス>

食事のあとは一緒にダンス。練習してきた「セブンステップス」を園児と一緒に踊ります。途中でテンポが速くなったり、ゆっくりになったりの楽しいダンスに園児も生徒も笑顔がいっぱい。

<お別れ会>

楽しい時間もあっという間に過ぎ、お別れの時間に…。園児と生徒からの感想発表の後、生徒全員がハイタッチで園児たちを送り出し、楽しい時間は終了となりました。



幼稚園の先生方や生徒会、2学年の先生方など、多くの協力を得て、生徒たちは充実した経験をする事ができました。また生徒たちも本当によく動いてくれたと思います。「来年も参加したい」という感想も聞かれ、生徒たちにとっても心に残る体験でした。この経験を是非ともこれからの生活に活かしてほしいと願っています。

次回は「豆まき」どうぞ期待！

当日は報道各社も取材に多く訪れ、夕方のTVニュースや新聞各紙に紹介されました。